

春日大社国宝殿 秋季特別展

神様の宝箱

植物・動物・昆虫が織りなすデザイン



舞楽装束 胡蝶 袍



重要文化財
禽獸葡萄鏡



復元模造
時絵筆



舞楽装束 林歌 袍

令和7年 9月14日(日)

期間中
無休

12月12日(金)

〔開館時間〕 10時～17時
(16時30分受付終了)

Kasugataisha Museum, Autumn Special Exhibition

Treasure Box of Deities
—Designs of Plants, Animals, and Insects—

Period: Sunday, September 14, 2025 – Friday, December 12, 2025
Open every day: 10:00 – 17:00 (last entry 16:30)

重要文化財 禽獸葡萄鏡(部分)、舞楽装束 胡蝶 袍、復元模造 時絵筆、舞楽装束 林歌 袍

春日大社 国宝殿

Kasugataisha Museum

拝観料

大人 ¥700 (20名以上600円)
高校・大学生 ¥400
中学生・小学生 ¥300

アクセス

JR・近鉄奈良駅より
春日大社本殿行きバス7～10分、下車スグ
〒630-8212 奈良市春日野町160
Tel. 0742-22-7788 / Fax. 0742-27-2114

神様の宝箱

植物・動物・昆虫が織りなすデザイン

春日大社の宝物に息づく植物・動物・昆虫のデザイン

神様へ捧げられた宝物には、様々な動物や植物、時には虫が意匠として施されています。優雅に舞う鳥たちや華やかな蝶々、涼しげに鳴く鈴虫、美しい曲線を織りなす唐草文様や咲きほころぶ花々など、古来日本人に愛されてきた自然の表現は、神様にふさわしい生命のデザインでした。

本特別展では春日大社の宝物を通して、動物・植物や虫たちなど、生きとし生けるものによって表現される自然のすばらしさ、美しさをあらためて確認し、宝物のデザインとして選ばれた意図を探ります。

第一章

動植物のデザイン

宝物にほどこされた動物や植物のデザインは、その単体で意味を表すものもあれば、動物と植物の組み合わせで吉祥を意味するものもあります。神様の御料であった古神宝や祭礼にかかせない舞楽で着装する装束などからこれらの意匠をご紹介します。

重要文化財 柏木兔腰刀



舞楽装束
崑崙八仙 袍



重要文化財
竹虎双雀方鏡

第二章

昆虫のデザイン

宝物には動物や植物とともに昆虫や蜘蛛がデザインされることもあります。虫は種によって生命の再生、繁栄、幸運をもたらすものと考えられていました。

虫のモチーフが持つ象徴とその背景から、昆虫をデザインする意図を考えてみましょう。



梅鶯時絵硯箱



手力雄盆(裏面)



秋草蝶鈴虫時絵小鼓胴



木製虫尽時絵脇差装矢立



秋野時絵笛筒 部分